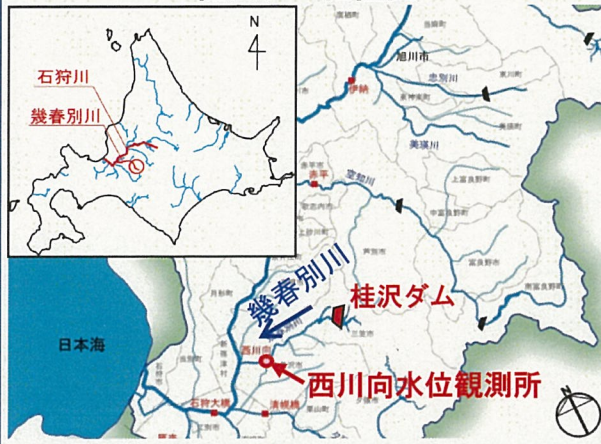


桂沢ダムの防災操作と効果 (平成25年5月11日)

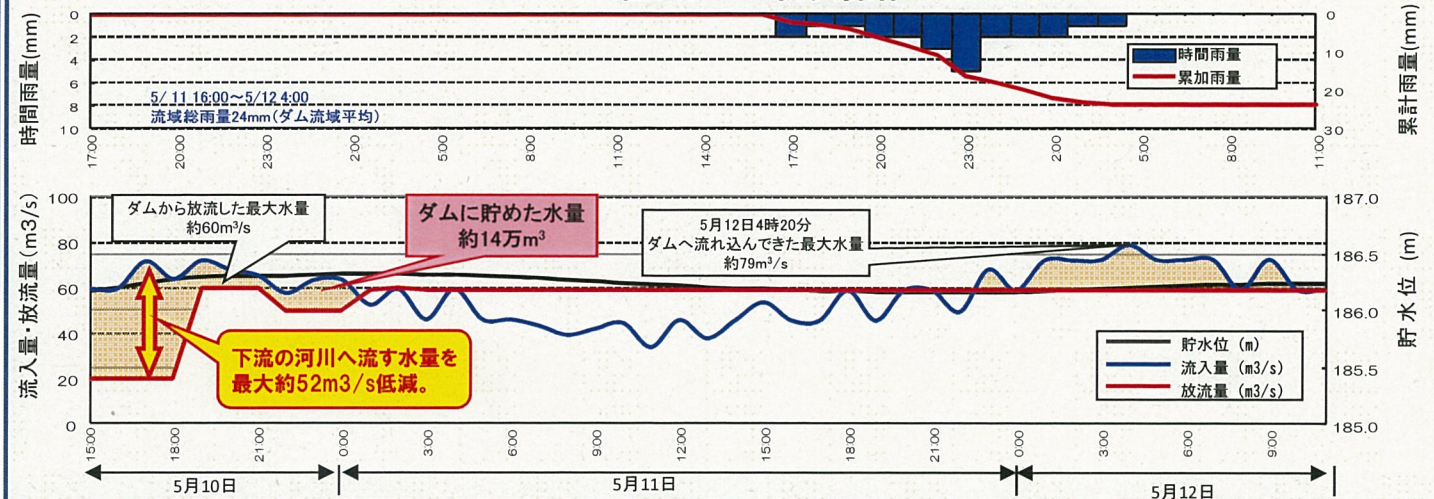
いく しゅん べつ
～幾春別川の水位を約1.7m低下～

- 平成25年5月10日からの融雪及び、5月11日からの降雨により、石狩川水系桂沢ダム上流域では流域平均総雨量約24mmを観測し、桂沢ダムへの最大流入量は約79m³/sの流入量を記録しました。
- 今回の防災操作において、桂沢ダムでは約14万m³ (札幌ドーム約0.1個分)の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で約52m³/s (約7割)低減させました。
- この結果、ダム下流の西川向水位観測所地点 (岩見沢市新川橋付近) では、水位を約1.7m低下させたと推測されます。

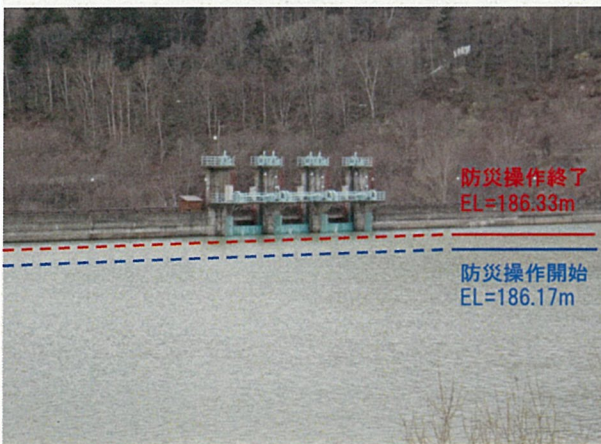
桂沢ダム位置図



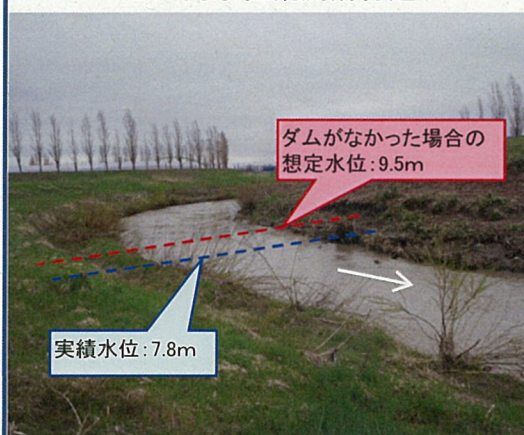
桂沢ダムの防災操作



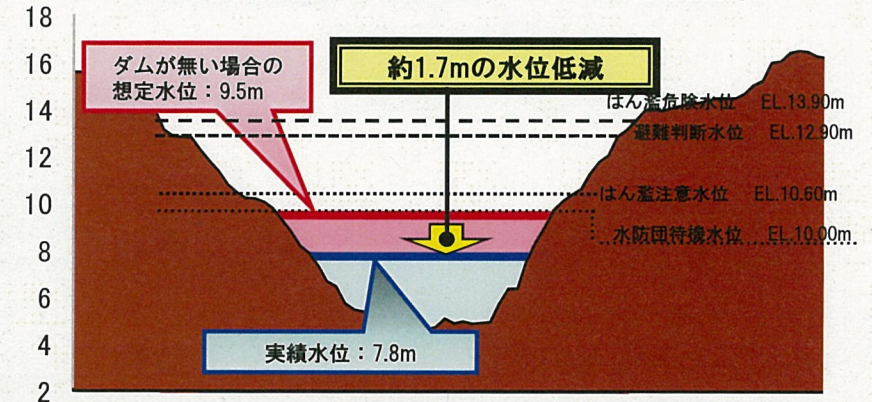
桂沢ダム貯水状況



西川向水位観測所付近



西川向水位観測所地点における水位低減効果



※速報値のため、数値は変わる可能性があります。